

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

10月号(NO1)通巻 151号

2018年10月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】荒れて畑のツケは重い!

○暑さ寒さも彼岸までと云われるが10月なっても夏日の気温である。1日は30℃以上の真夏日になった。一度長袖の気温になってからの夏日は堪える。酷暑で疲れた身体には辛いものがある。伸び放題になった畑の草刈りをしている。草刈りをするたびに筋肉痛である。この夏は熱中症に注意のニュースも手伝って畑にでる機会が極端に減った。それに2居住は効率が悪い。その結果が繁茂した草の畑である。彼岸が過ぎたらと思っていたが、夏日では頑張れない。

○この機会を外して荒れた畑を元に戻すことは出来ない。少しずつ草刈りを進めている。筋肉痛の身体は快眠をさせてくれる。草が刈られ地肌に見える景色は少しだけ気分も晴れる。こんな状況で白菜と大根はと思っていたが蒔く時期を逸してしまった。寂しいが諦める。荒れた畑のツケは重い。草刈りをしばらくは続けなくてはならない。

○草刈りで大汗を流していると収穫したばかりの薩摩芋を頂いた。荒れた畑を見て、無いと思われたのかも知れない。翌日には別のご近所さんから栗を頂いた。栗は春に虫にやられてしまった。草刈りの頑張りに褒美が貰えたような気がした。多謝多謝である。

○落花生の収穫を来週にはしたい。小豆の収穫はもう少し先になりそうである。草刈りを優先し元の畑に戻したい。ブルーベリーの選定、伸びた木の枝も切りたい。やらなければならない事が目に付く。収穫でなく草刈りの秋になる。頑張るぞ!9日(了)

【楽農】ほぼ草刈り!

<畑>、トマト、茄子、ネギの少量収穫。

*畑、周辺に繁茂した蔓の除去と草刈りを続ける。

【楽市】イベント交流・直売など。

○イベントなど;ごみの会(13日)笠吟連(20日)男女参画協議会(27日)吟県西大会(30日)魅力発信隊(3日)共生の会(4日)川柳の会(4日)敬老の吟詠(7日))に参加など。*免許センター認知症検査(21日)を機に物と併せ断捨離を進める。

【つぶやき=Tweet】西欧では賞味期限が短いものから買うと云う!

○1人暮らし1人食事が多いので食材を買う機会が多い。無駄をしたくないので賞味期限



<柿の実を付けた木>この景色が昔日の農村を連想。

9日撮影



<キバナコスモス>柏農業公園で。9日撮影

が気になる。賞味期限が間近になると割引になる。直ぐ食べる時には買うようにしている。日本では賞味期限の長いものを選んで買う。貧乏していると思われたくないのか？割引シールの購入を敬遠する人が多いとか。西欧では逆で、食料を賞味期限が短いものから買うと云う。こんな話を聞いた。賞味期限間近から買えば、店側のロス少なくなる。客に還元があるかも知れない。財布にも優しい。レジ袋なしと同じように取り組めないものかと思う。割引シールが善行マークなる。食料ロスを減らし、環境負荷が小さく繋がる。



＜英字の案内板＞柏農業公園
傍で。外国人来る？9日撮影

○10月16日は「世界食料デー」国連が定めた世界共通の記念日である。まだ食べられる食べ物をたくさん捨てている日本でも、約2000万人の人たちが貧困ライン以下で生活していて、なかでもひとり親世帯や高齢者の割合が高いという。生きるために最低限必要な食べることも十分ではない人たちがいることは、世界も日本も同じである。国際社会は、持続可能な開発目標（SDGs）の中で2030年までに「飢餓をゼロに」することを約束している。「食べる幸せ」をみんなで分かち合える世界にするために、必要なのは私たち一人ひとりの行動であると取り組んでいる。話題にもなっていないのが寂しい。国際社会の一員なのだから、。

【“逆説土楽たより”に改題に当たって】

○最近は何にですが、“土楽たより”の題名と内容が乖離するものになっており、気になっていた。スタートは“生涯現役の農的生活で”をテーマにしていた。勝手な言い分になるが、社会の激変に“土を楽しむ（土楽）”が耐えられなかったと反省している。田舎暮らしも、2居住の生活も、IUターンも、享受だけを求めた訳ではないが、極楽とんぼの私には無理があったようである。今頃気付いても遅いのだが、だが、よい時間を持てたと思っている。○社会の変化は大きなものがある。アナログからデジタルに、総中流と言われた時代から格差社会に、平和憲法から安保法制の戦争が出来る国？に、IT社会の加速は生活を強変させ、格差の進展は社会の歪みを拡大するばかりである。高齢化社会の進展で、自分の事が心配な歳になって、親の心配、子供の心配をしなくてはならない。農的生活を始めた頃からの社会の変化の質とスピードは激しいものがあった。やり直しは出来ないが、視点を変えて”土楽“の後半を綴っていきたいと思っている。“逆説”にはそのような意味を込めている。

*生き活きだより 2006・3～2010・3までの49号、土楽たより 2010・4・5～2018・9までの101号、通巻150号。逆説土楽は井沢元彦の“逆説の日本史”の題名にあやかる。○

断捨離は、物以外にも、成功体験も必須。文言を重い心の支えに、一進一退、コツコツと進める。後がないのである。

【後記】草繁茂力凄い！Kogure農場にお越し下さい。【特に編集せずランダム構成にする】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；kogure農場